

光成客員教授ご退職に寄せて

平成 29 年 3 月をもって光成客員教授はご退職をされます。光成客員教授の長年の功績を称えて本紀要を光成客員教授ご退職記念号といたしました。

光成客員教授は、平成 4 年（1992 年）青梅校に開設された情報学部経営情報学科の教授として就任されました。その後、平成 10 年（1998 年）に情報学研究科の開設に伴い情報学研究科教授としても就任されました。

学内における役職としては、情報学部経営情報学科主任を 3 年、経済学部学部長補佐を 1 年、経済学部経営学科主任を 3 年、経営学部経営学科主任を 2 年、その後、経営学部長を 2 年務めました。特に、経営学科が経済学部の一学科から独立し経営学部へ改組する際に尽力され、その後の経営学部発展に大いに寄与されました。

学会活動では、日本図学会理事、(社) 日本設計工学会理事、(社) 日本設計工学会評議員、(社) 日本設計工学会査読委員、(社) 精密工学会論文査読委員などを歴任されております。

また、通商産業省工業技術院委託による J I S（日本工業規格）「プロッタ仕様項目（JIS B3412）」原案作成委員会委員長、「プロッタ用語（JIS B3410）」原案作成委員会委員、「CAD 製図（JIS B4402）」原案作成委員会委員、「プロッタの試験方法 第 1 部 ベクタプロッタ」（JIS B 3411-1）」改正原案作成委員会幹事、ISO TC10/184 国内対策委員など国内外の工業技術の標準化に大きく貢献されております。

多摩地区への貢献としては、武蔵村山市の「武蔵村山市補助金等検討協議会」会長、日野市の「日野市商業活性化」委員（学識経験者）、明星大学経営学部と多摩信用金庫とのコラボによる「TAMA NEXT リーダープログラム 7 期・8 期」塾長など歴任されております。

研究業績としては、著書 36 冊、学会論文 41 編（その内、査読論文 8 編）、学会講演 17、企業研修会 5 などの合計 105 ほど発表されております。また、2016 年 5 月には、(公社) 日本設計工学会より長年にわたる設計工学の発展に寄与が認められ「設計の礎賞」を受賞されました。特に、研究テーマである「教育用 3 次元モデルの開発」では、学会論文に掲載されただけでなく、日本工業新聞（平成 11 年 2 月 5 日付）、人と採用（2000 年 7 月号）の話題の教授にも紹介され、第三者機関により高い評価を受けております。

このように光成客員教授は長年に渡り、教育、研究、そして地域の活性化などに多大なご貢献をされた方であります。今後も経営学部発展のために、遠くからのご指導、ご鞭撻を賜りたいと思っております。

経営学科主任
若木 宏一